早刷乃奈加ワ乃安以古登波

WRI News Letter NO 81

1979年4月5日　戦争抵抗者インター日本部　大阪市あべの区旭町二の十二の二

原発(げんぱつ) 急

主催 WRI

○ 米スリーマイル島原発事故は人ごとではない。

・電力会社はすべての原発運転を停めよ！

・政府は 原発建設計画の凍結を 声明せよ！

・朝日新聞は3/31朝刊12版「許容量」を浴びた従業員は一人もなく、周辺住民への障害も心配ない」というデマ記事を取消し、謝罪広告を出せ！

・原子力委員会吹田委員長以下は辞職せよ！

☆25km地点まで死の灰は飛散している。すでに周辺の牛乳からヨウ素131が検出された！

☆電力会社は、事故後3時間たって自治体に報告。州政府と市町村が直ちに退避計画をとりかかったところ、NRC(安全委員会)は混乱をおそれて、退避命令をさし止めた為すでに脱出した25万とも5万とも云われる周辺住民とくに妊婦幼児にも死の灰の吸入が心配されている！

原発事故当時所内にいた作業員五百人は、高線量を被ばく隔離されている。発病従業員のうち14人が危とくにおちいった！

☆ワシントン・ホワイトハウスにて原発即時停止のたれ幕が下った。WRLほかの4名が逮捕されたが、それを契期にいま全米各地で30余の行動が生まれ、4月28日の大デモを集点として、さまざまな行動とデモがひろがり出している。

ワシントンMFSニューズ 4/1 PM11.

楽天仁乃剣哉

3/31・4/2・忌原発・関電デモ・そして次は!?

〈電話の木〉連絡などをうけて三月三一日(AM10.30)、関西電力本社前にあつまったのは、子供連れをふくめて二十数人。社長は出てこず、大和広報部長と長谷川営業担当課長、その下僚が四・五人。エンエン二時すぎまでの申入れと折渉。　こちらの申入れは——

1　今回の米原発の教訓をうけとめ、関電はすぐ稼動中の原発〈大飯のみ運転中・他の美浜・高浜は故障定検中〉をストップすること

2　現在新規計画中のすべてを凍結すること。

3　原子炉の安全性について公開討論会を開催することを緊急に考慮せよ。

先方の云い分は三点

1、米原発事故については正確な情報が入手できるまで、現時点での評価は差ひかえる。

2、今回の事故は、大へん重大なことと思っている。

3　しかし関電は、国の厳重な審査をうけている。さらに、充分な訓練をうけた技術者が運転している。だから周辺住民に迷惑をかける事故は起ることはない。……

なお社長との面会及び討論会については考慮。

ところで、第三点に対しての質問、「ではアメリカよりどれだけ厳重な安全審査をうけているか」に対しては「アメリカの審査と比較して云っているのではない。どんな審査を厳重にうけても〝事故は絶対おこらない〟とは云えないだろう、などと云いながら、しかもなお・「安全である。事故がおこる心配はない。従って第三点は撤回しない。稼動中の原発運転停止も、計画凍結も考えない」…という予想通りのひらきなおりだった。

ともかくこの日は関電のひらき直りをはっきりさせ、新聞数紙に報道されたことでの第一弾。

なんまいだぶつ　忌原発…

三日、午后三時大阪駅西口にあつまってビラ〈二日に大急ぎでつくった三種のビラ約5千枚〉をまきながら関電本社までの「ぶらぶらデモ」。例の「電話の木」での広達だから悪くすると10人、せいぜい20人ていど来たら…と思ったら、ナンといっ

のまにか八・九十人の隊列！（ケイサツ発表？60人）
全員が工夫丹精いろとりどりのプラカードを胸にぶらさげ、ドクロマスクや防毒衣・防毒面もまじって、見物役の外人たちもふくめた大家族総出ピクニック風景のにぎやかさ。さア行くでェー。
先頭は幼児を抱いた主婦二人、つゞいて女グループが担ぐ、黒衣におおわれた寝棺。忌原発。それをとりまき前後に五人十人かたまって、道の両側・地下にももぐって堂島地下街を　しずしずばらばら、来る人毎にビラをわたしながら渡辺橋へ。そこから川添いに左折して500メートル位で関電本社ビル。
「うわあ、ようけお出むかえや」通路をのこしてシヤッターがおり、私服・ガードマン・社員らがずらりとならんで、すでに敵さんは厳戒体制。やあごくろうサン、ま、このビラよんで下さい。顔みしりの広報課もいる。
ゆっくりゆっくり棺桶がすゝんでまん中でとまる。私服のボスがマイクで何かしやべろうとしたとたん「黙とう」と、どこからか大きな声でどろくように「なむあみいだあぶう。なあむあみいだあぶう……」それからみんなが「なむあみだぶ」を斉唱しながらすこしずつ歩き出して、三〇メートル程さきの郵便ポストのところでUターン。再びなむあみだぶの斉唱で本社玄関前。（なかなかいいハーモニー・何て音楽的なシエプレヒコールやろ。先方さんもニが笑い。）ゆっくり通りすぎて次のビルの角まで。
これでもうかえろのか、と見送ってくれてるので再反転。こんどは一きは声たかくなむあみだぁ、本社玄関前に近ずいた寝棺がとつぜんむきをかえて敷地内から通用口へ。と向うとみせて、ばらばらおしかえそうとかゝってくるのをはずして、すらりと通りすぎる。なむあみだぶ。なむあみだぶ。
「隊列をとくこと、プラカードは掲げないこと。これ以上やれば、無届デモとして制服に規制させる」とボスがいってくる。腕をつかまえて放さない。
こうして三往復、最后は学生グループがもっと景気のよいシエプレヒコールをやりたいというので、学生グループを先頭におし出す。そのあとに女グループがついて、学生たとびかゝってきかけた警官の前にす、み出て、とうとう先方は手出しできず。
欲求不満むき出しでどうにもかってうがつかぬまま、みすみす見逃というわけの先方さんに、みんなが手をふり声をあげて、「帰ろかな、帰らんとくか。

☆ いろいろ動の人を期待しています。連絡下さい。

やっぱしかえろよ・サヨーナラー」ということで終ったのが五時すぎ。

「私服・制服10数人に取巻かれて」

6時から、梅田・ナンバ・天王寺で大ビラマキを展開することになっていた。尾行をどうやらやっとマイてぼくの受持ち天王寺へくると、なんと先廻り？かどうか所轄阿倍野署のほか大阪府警本部からもきていてビラ一枚もまかせぬとびっしり横にはりついて、大けんまく。だんだん冗談口も出て「もうエエカゲン帰ってくれやァ」。というやりとりの中で、プラカードを胸にかけて、大阪橋をぐるぐるまわったり、立止ったり。結局、数枚まいただけで、どうもごくろうさま、となった。先方サンの情報あつめや尾行せんさく、電話盗聴などものすごく、その夜は各所で所在たしかめの無名電話などがかかってきたという。ウリには一時、二時と三回も……。

さて次は5日、関電本社前坐り込みを予定していたのだが、全部先方さんにつつぬけが判ったので、それは中止。そして……（4月4日午前11時30分、いまウラ事務所は應援部隊で大活況で準備中）

(き)

明日の行動の準備で、どたばたしながら、ともかくこの号をかきとばしで送る。大阪のうごきが全国にまず伝わることも、運動のひとつだと思って……

おしらせ

3月5日AM 0:20

4月6日（金）PM6:30 共同小屋つゆくさ'79で一。原発連、拡大定例会。緊急行動の提起と伝達。ぜひムリでも、この際でかけて下さい。いま私たちは仲間の、あなたの手を必要としています。

4月7・8・9日「電話の木」またはそのつながりできいて下さい。尚8日午前11時天王寺公園植物園前に集合「奥田河子さんを囲む交流会」

4月10日（火）不払い運びつくり市民講座第6回、PM6:30、共同小屋で。予定を変更し「米スリーマイル島原発事故が意味するもの、と私たち」といった講演会に切りかえる予定です。あるいは他の行動予定

4月中旬、奄美大島枝手久闘争のウルフとダマリが大阪に立よります。二人を囲んで現地の様子や無我利道場の日々、そして いよいよ 刊行の「島里人の島」についての話をきく集りをもちたいと思っています。希望者は電話で問合せを。06－[illegible]－四〇八九

○ 緊急行動への立上りを！

◎ハガキデモ―各地市町村長、議会（電力会社）あて、原発等の停止、計画の凍結の決議と声明、政府への要請―を。

◎ 署名用紙ができています。その署名あつめを。（用紙は申出て下さい）その他電力会社へのゲリラ電話など、いろいろ考えて下さい。